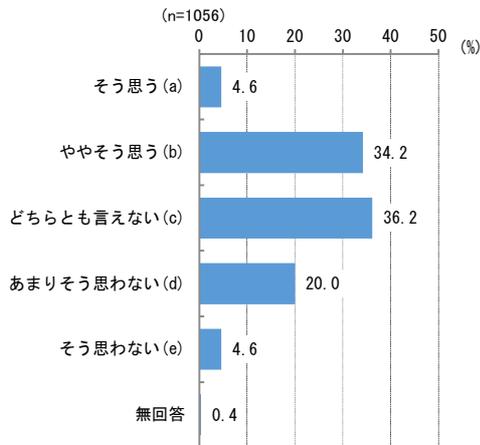


設問別集計グラフ

調査票A

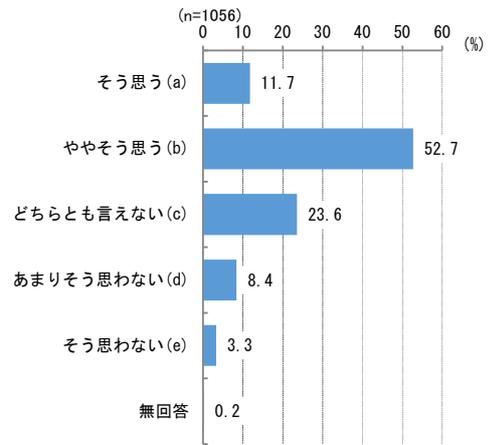
環境

Q1. 環境に配慮した行動を実践する社会になってきている



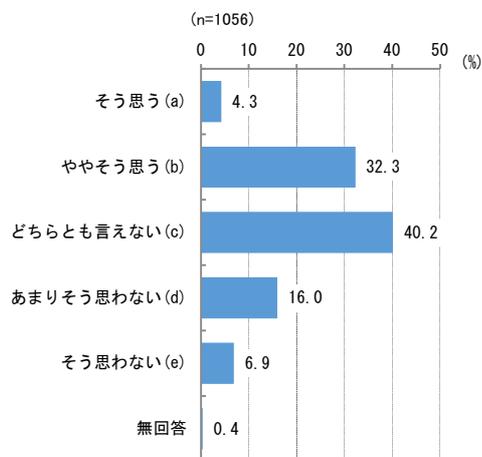
環境

Q2. マイバッグの利用やごみの分別・リサイクルの徹底など、ごみの出ないくらしと事業活動が広がっている



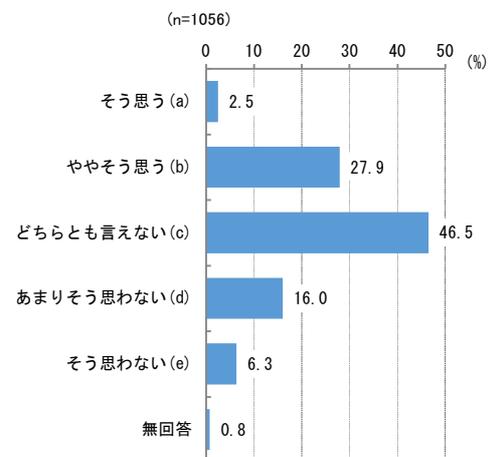
環境

Q60. 京都の身近な自然環境が守られ、受け継がれていると思う



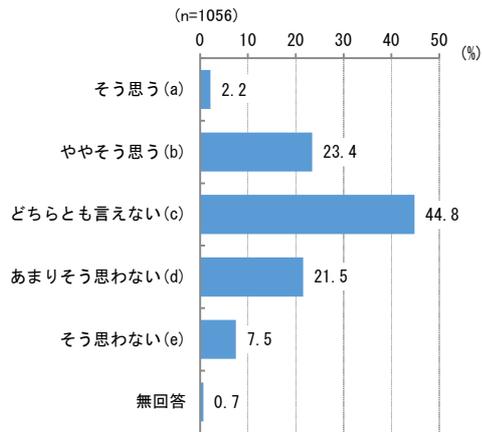
人権・男女共同参画

Q3. 一人一人が互いを認め合い、多様な考え方や生き方を迎え入れて交流している



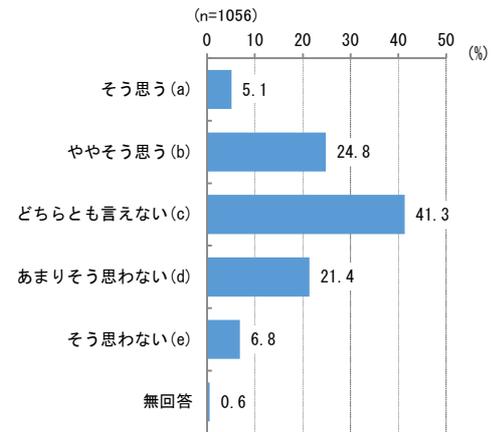
人権・男女共同参画

Q4. 仕事と生活(家庭や地域活動など)をバランスよく充実できる社会になってきている



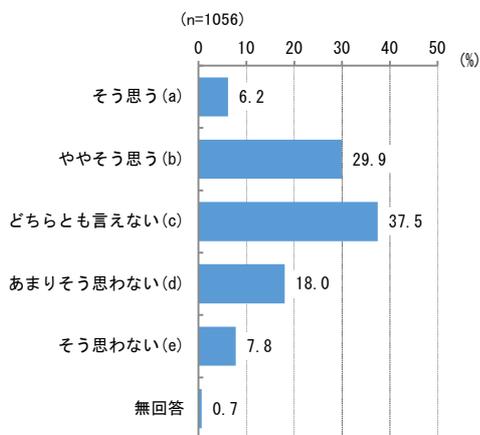
コミュニティ

Q5. 近所で日頃からあいさつが行われるなど、人と人がつながり、安心して暮らせる地域になっている



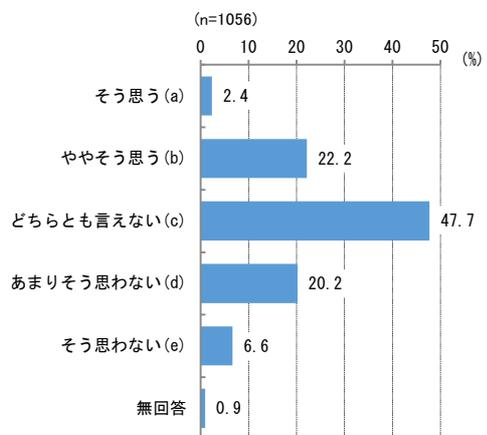
コミュニティ

Q61. 自治会・町内会等が、防災、防犯、見守り活動、町内美化等、地域のための取組を行っている



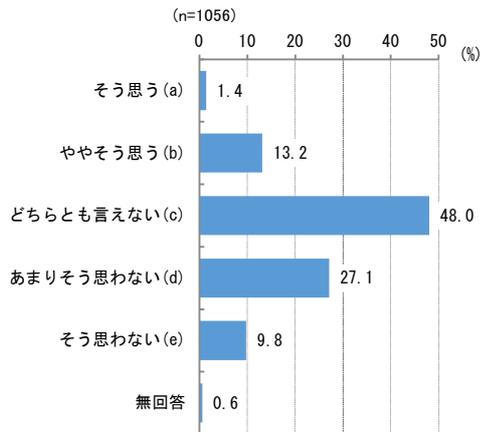
安全

Q6. 市民・事業者等により、地域の防犯・交通安全活動が盛んに行われている



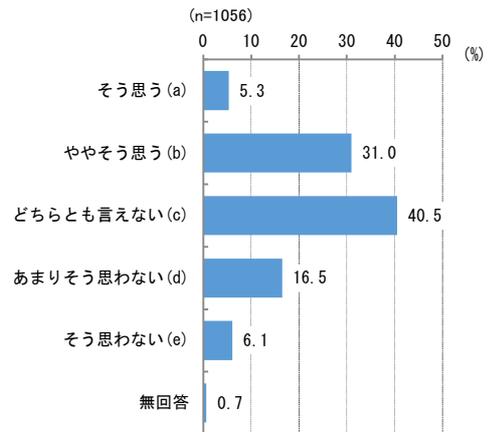
安全

Q7. 悪質商法などによる消費者被害を防止し、被害者を救済するしくみが充実している



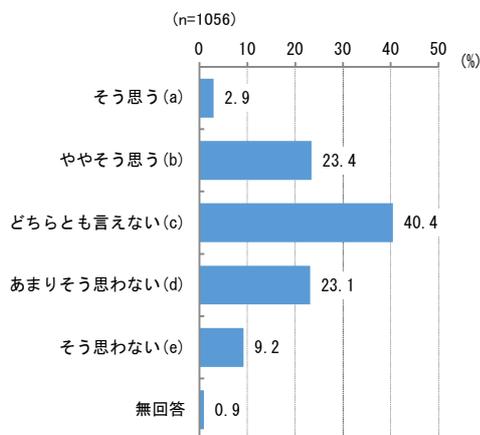
文化

Q8. 日々の暮らしに文化がとけ込み、市民が文化に触れることが出来ている



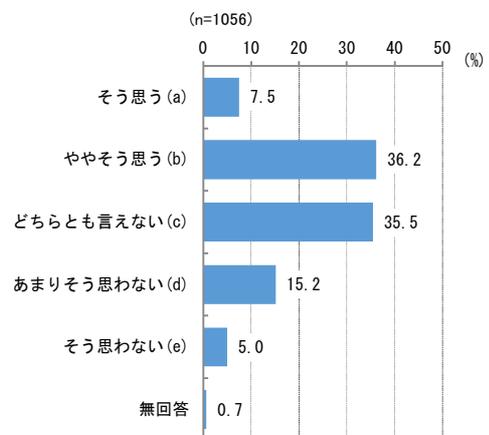
文化

Q9. 海外との文化交流が進み、相互理解が深まっている



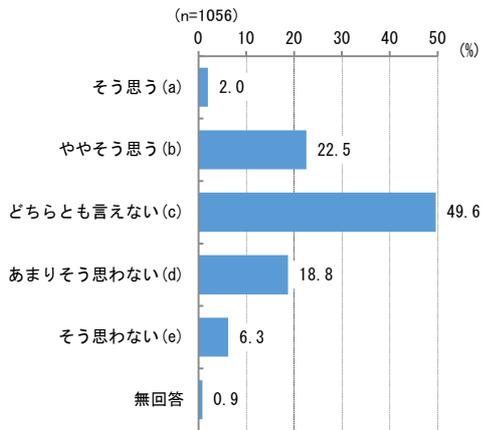
文化

Q10. 有形無形の京都文化遺産が日常生活の中で生かされ、大切に守り伝えられている



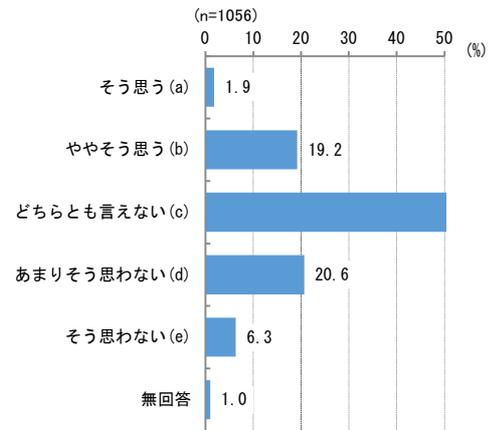
スポーツ

Q11. 市民がスポーツを楽しみ、健康で心豊かにくらししている



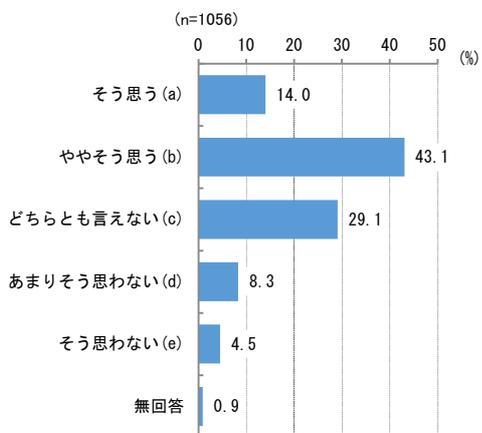
スポーツ

Q12. 市民がスポーツを楽しんだり、スポーツを支える活動を通じて、様々な人とつながっている



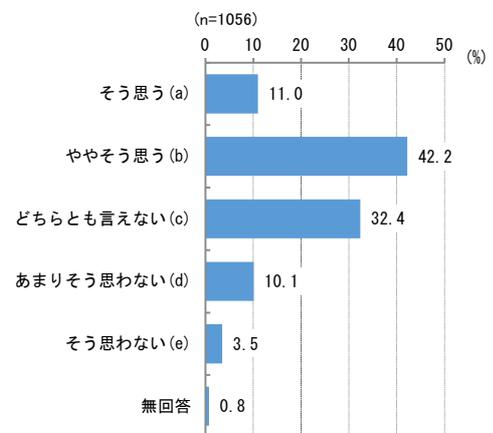
産業・商業

Q13. 京都には、地域とともに発展し、大切にされている企業やお店が沢山ある



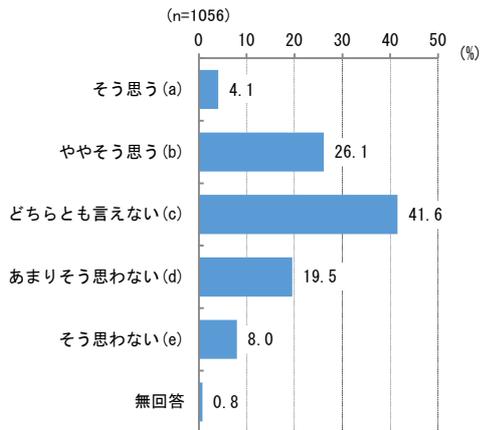
産業・商業

Q14. 京都では、独自性の高い製品が生み出され、世界で活躍する企業が多く集まっている



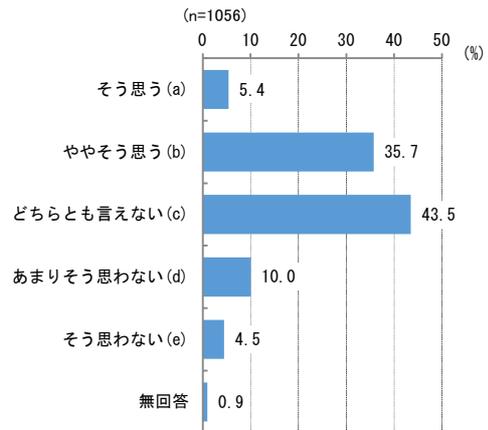
産業・商業

Q15. 京都は活気ある商店が地域のにぎわいを生み出し、快適に買い物ができるまちである



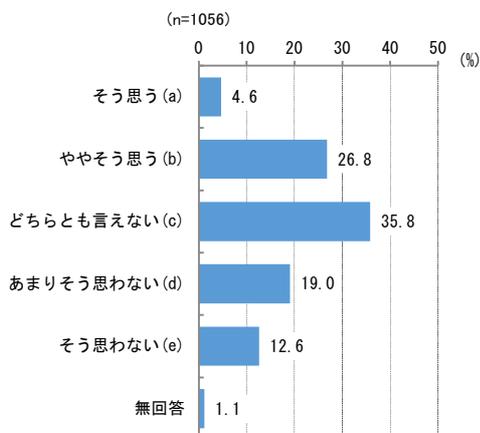
産業・商業

Q16. 安心・安全で品質の良い食材が流通している



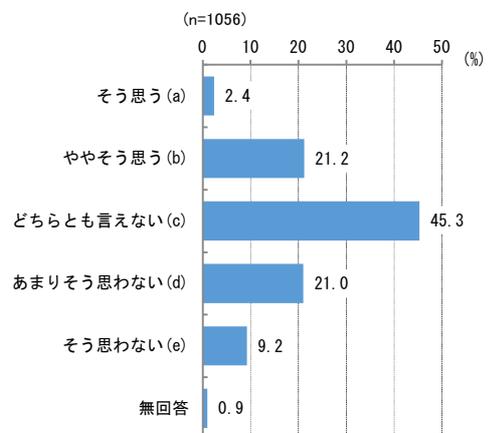
観光

Q17. 観光は産業振興や雇用拡大、文化や景観の維持・向上、公共交通の充実など、地域に恩恵をもたらしている



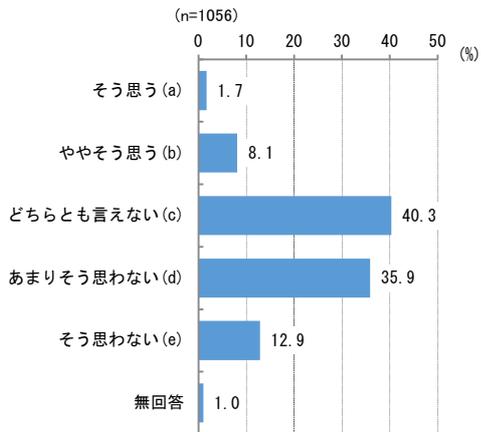
観光

Q18. 京都では、災害や感染症などの様々な危機に対応できる安心・安全な観光が実現している



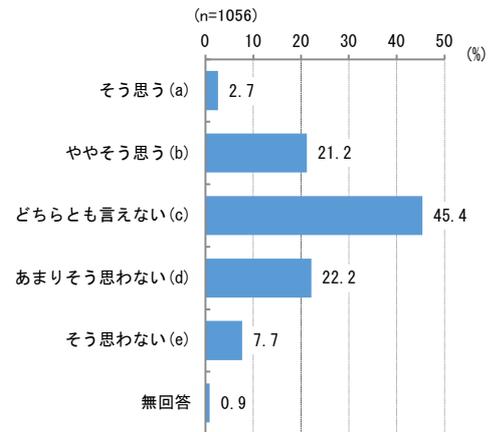
農林業

Q19. 農林業が魅力的な産業となり、後継者や新たな担い手が育っている



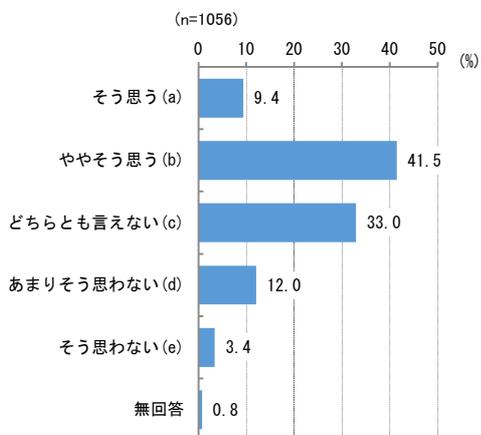
農林業

Q20. 農林業が京の食文化や伝統産業を支え、環境や健康づくりなどの様々な分野にも役立っている



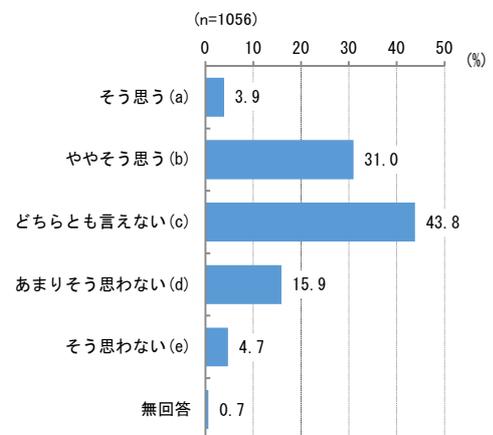
大学

Q21. 「大学のまち」として学びの環境が充実し、京都ならではの学びと出会うことができる



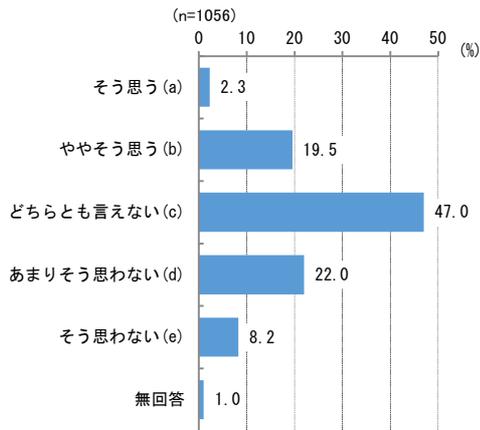
大学

Q22. 学生が地域活動などで活躍、成長し、地域を活性化している



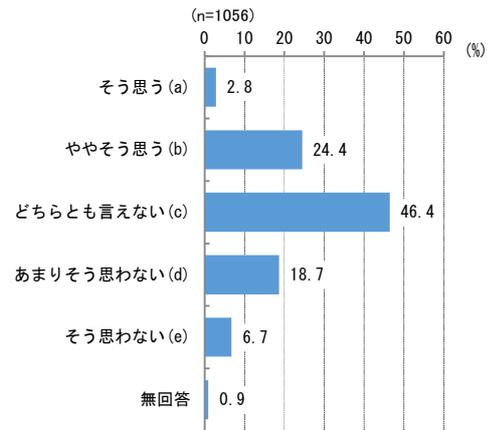
大学

Q23. 京都で学んだ学生が、市内企業に就職するなど、卒業後も京都で活躍している



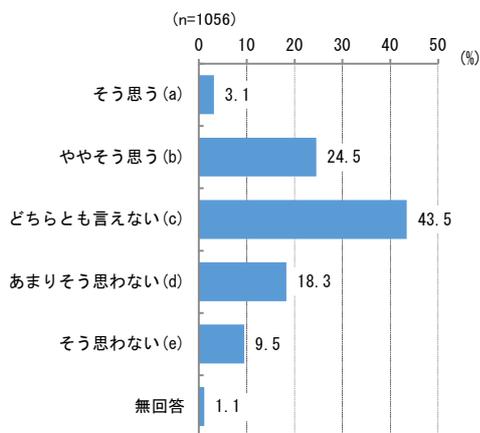
国際

Q24. 市民、民間主体の国際交流が行われ、様々な世代で外国文化への関心や理解が高まっている



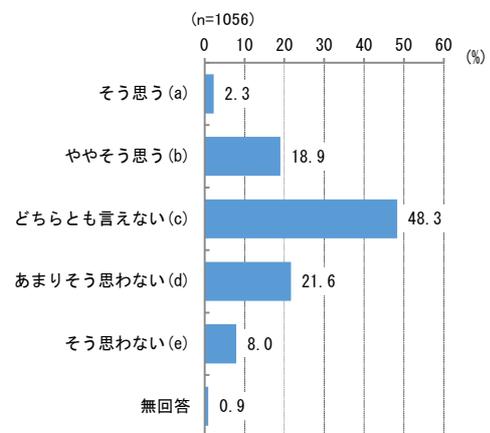
国際

Q25. 国籍、民族、文化等が違って互いに理解し合い、文化の多様さを感じられるまちとなっている



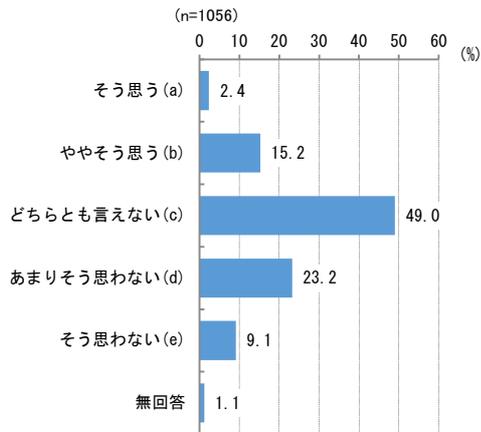
子ども・若者

Q26. 若者に様々な可能性が開かれ、自分が希望する将来像に向けて行動している



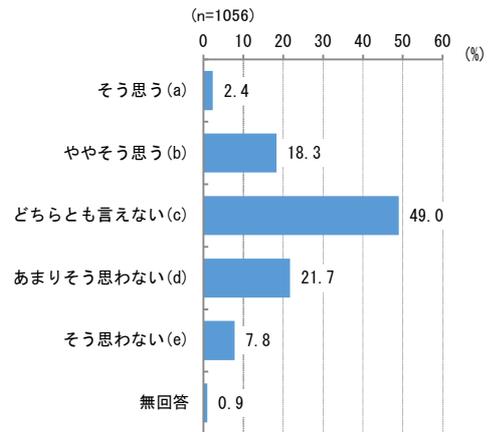
子ども・若者

Q27. 子育て家庭がともに学び相談し合うことで、子育ての楽しさや素晴らしさを実感している



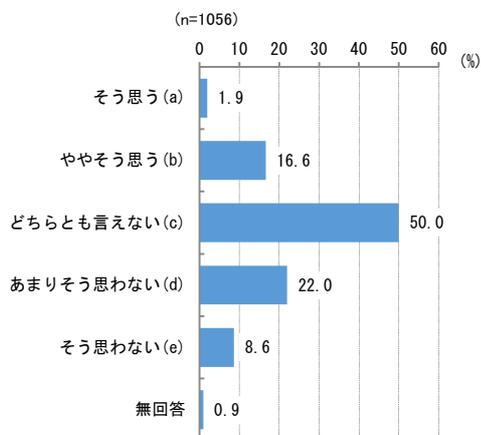
障害者福祉

Q28. 障害への理解が進み、障害のある人もない人も、認め合い、支え合って安心してくらしている



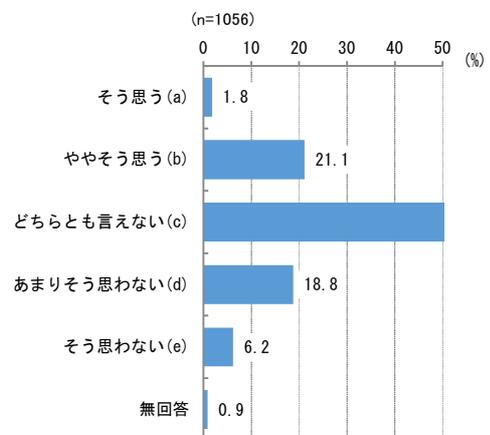
障害者福祉

Q29. 障害のある人が住み慣れた地域でくらしやすくなってきている



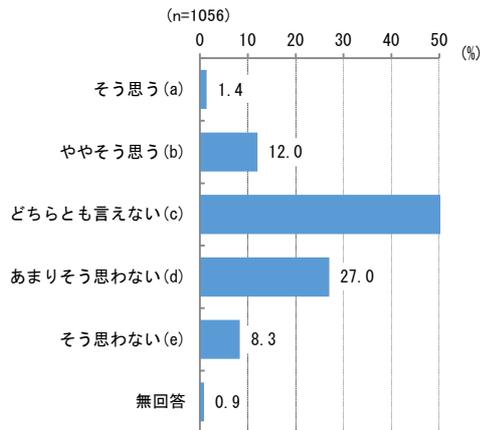
地域福祉

Q30. 様々な団体が地域の活動に参加しており、地域における支え合いの活動が活発になっている



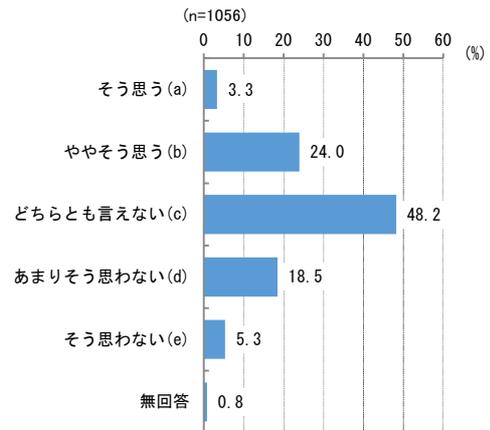
地域福祉

Q31. ごみ屋敷や地域社会からの孤立など、個人が抱える課題を行政や関係機関が受け止め、支援につなげている



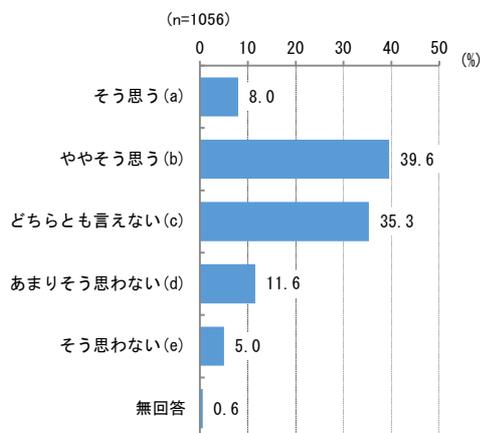
健康長寿

Q32. 高齢者が元気に社会に参加し、仕事や地域活動などで活躍している



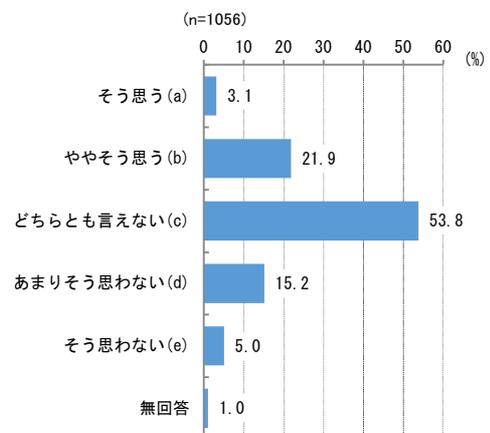
保健衛生・医療

Q33. 頼れる医療機関があり、必要なときに利用しやすい



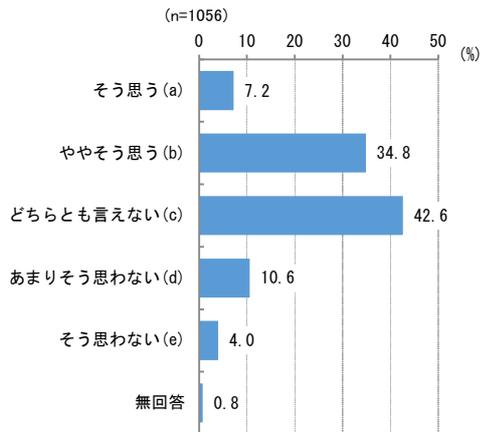
保健衛生・医療

Q34. 感染症や食中毒などが発生した時も市民の安全と安心が確保されている



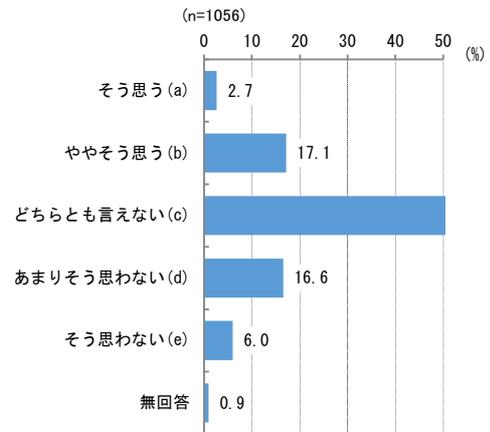
保健衛生・医療

Q35. 安全な食品が手に入り、清潔で安心な公衆浴場や理・美容所など、衛生的な生活環境が整っている



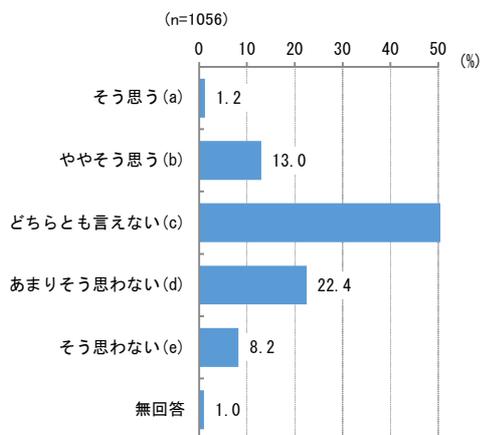
学校教育

Q36. 障害や不登校等、支援を必要とする子どものために、様々なニーズに応じた教育が展開されている



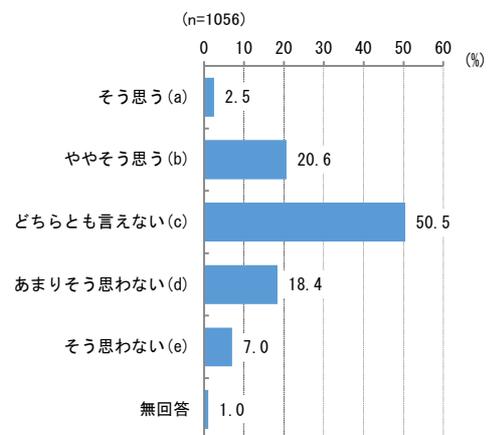
学校教育

Q37. 働き方改革が進み、教職員が子どもといきいきと向き合っている



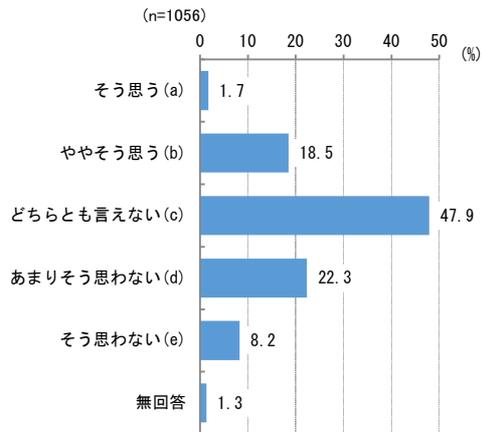
生涯学習

Q38. 子どもから高齢者までが、学ぶ機会と、学びの成果を生かして活動する機会を有している



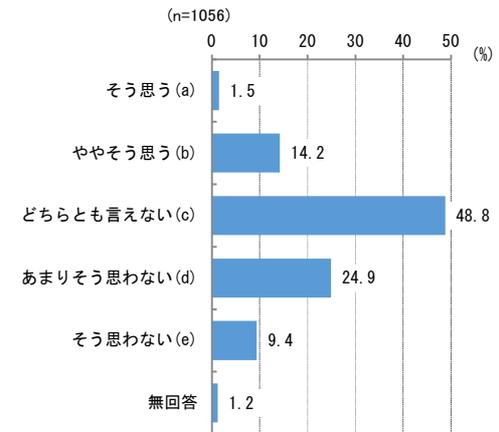
生涯学習

Q39. 子どもから高齢者まで様々な世代が交流し、学び合っている



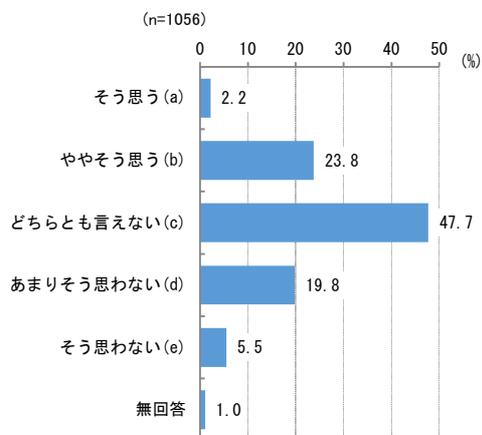
危機管理・防犯・減災

Q40. 高齢者や障害のある人、子ども、外国籍の人なども災害時にスムーズに避難できる



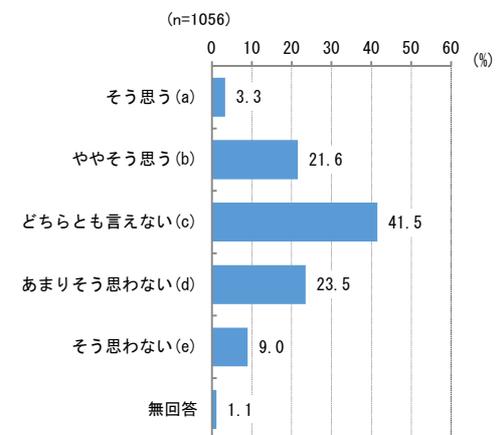
危機管理・防犯・減災

Q41. 自宅の防災対策や備蓄、防災訓練への参加など、災害などに自主的に備えている人が増えている



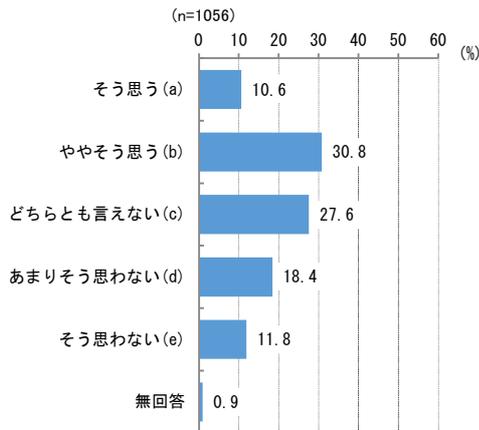
歩くまち

Q42. 自動車の利用を控え、公共交通、徒歩、自転車を組み合わせて出かけるライフスタイルが定着している



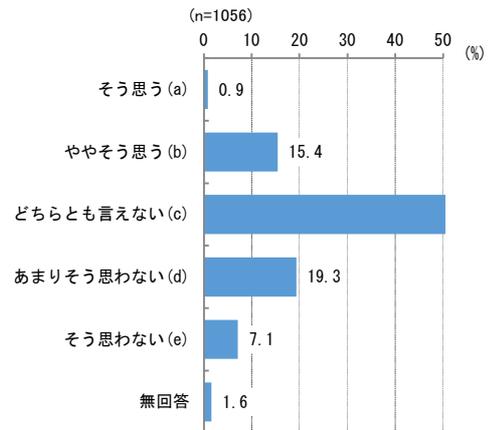
歩くまち

Q43. 京都市内の移動は公共交通が便利である



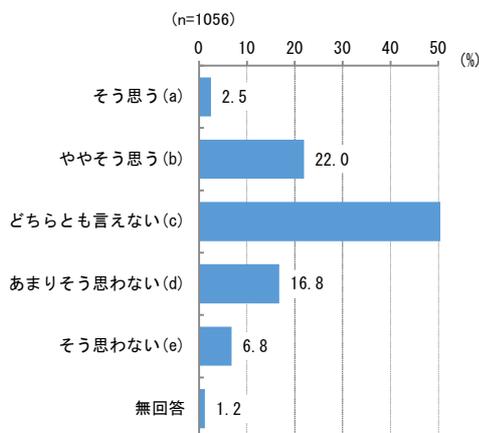
土地・空間利用と都市機能配置

Q44. 「らくなん進都」をはじめとする、京都の新たな活力を担う地域に産業の集積が進むなど、発展してきている



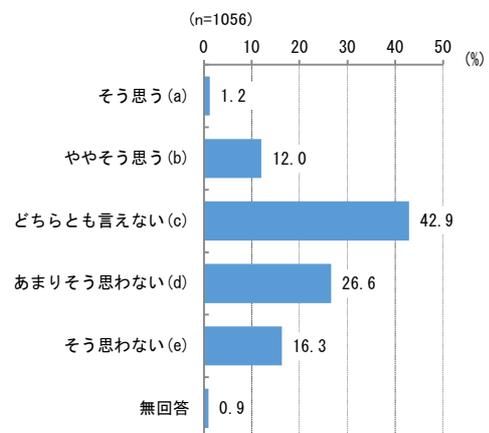
土地・空間利用と都市機能配置

Q45. 市内の様々な地域が、その地域の文化や資源をいかした魅力的なまちになっている



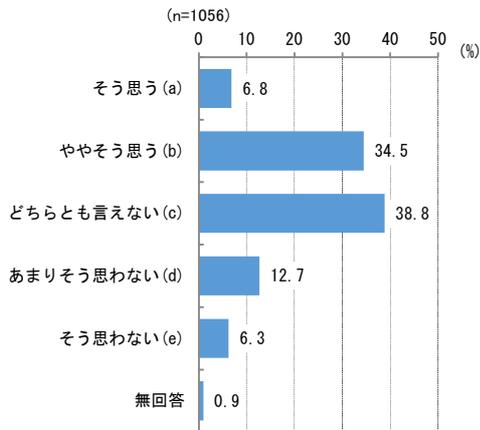
土地・空間利用と都市機能配置

Q46. 洛西や向島のニュータウンに新たなにぎわいが生まれ、魅力的になっている



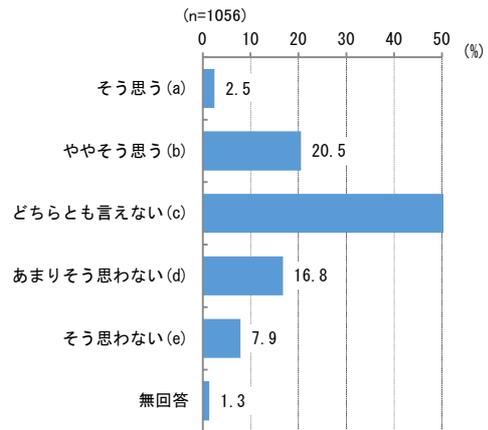
景観

Q47. 豊かな自然的景観、歴史的景観が守られている



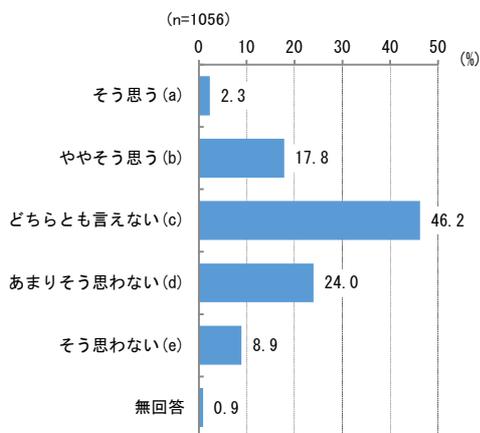
景観

Q48. いきいきとたくらしやまちの活気が生み出されるような新たな景観が生み出されている



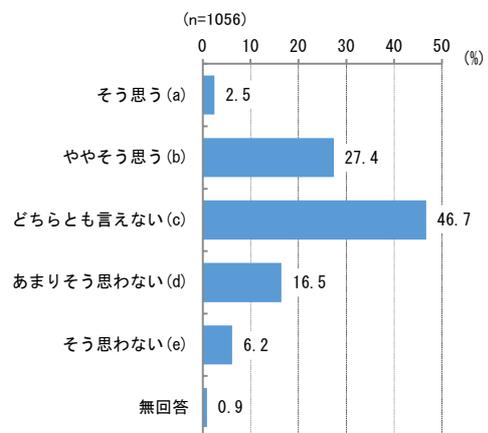
建築物

Q49. 京都の魅力ともなる細い道は、その風情を生かしつつ、地震や火災で被害が広がらないよう改善されている



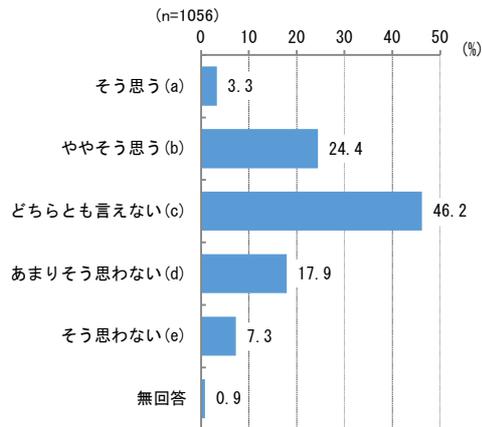
住宅

Q50. 日々の生活の中で、地域とのつながりや環境・景観に配慮されたすまいの工夫と知恵が大切にされている



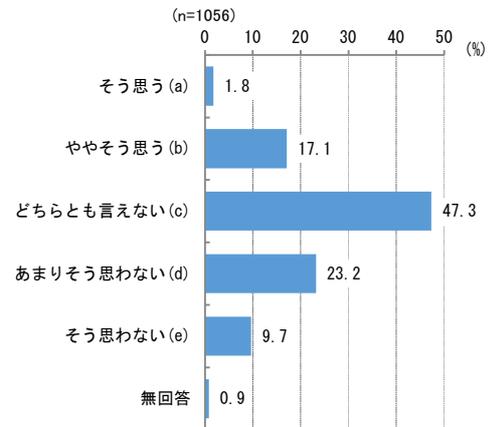
住宅

Q51. 適切にリフォーム・リノベーションされ、長く使える良質な中古住宅が増え、活用が進んでいる



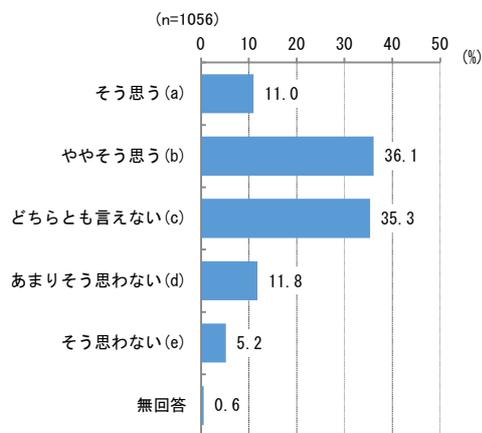
道と公園・緑

Q52. 災害時も安心・安全に通行できる道路網が整備されている



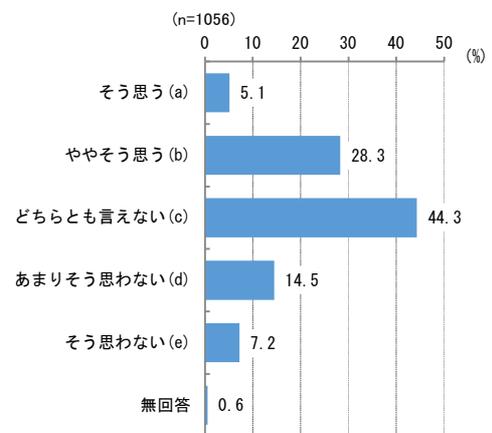
道と公園・緑

Q53. 四季を感じさせ、まちのにぎわいに華を添えるような街路樹や公園が身近にある



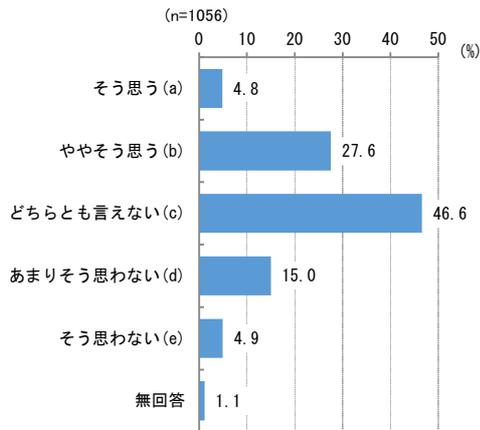
道と公園・緑

Q54. 市内の道路や橋が安心安全な状態で管理されている



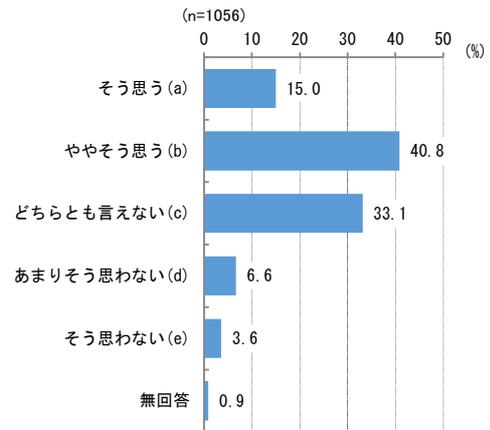
消防・救急

Q55. 文化財や京都らしい町並みを火災などから守る取組が市民ぐるみで行われている



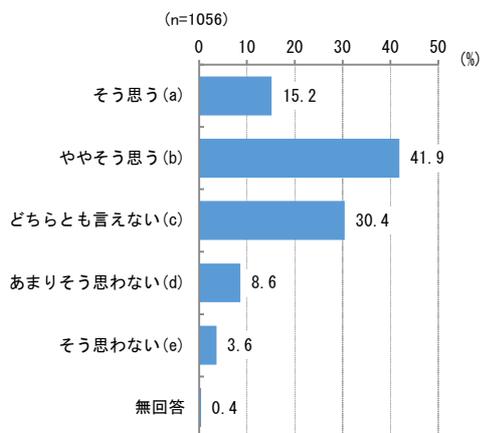
消防・救急

Q56. 消防署は、様々な災害や事故などが発生した際に頼りになる



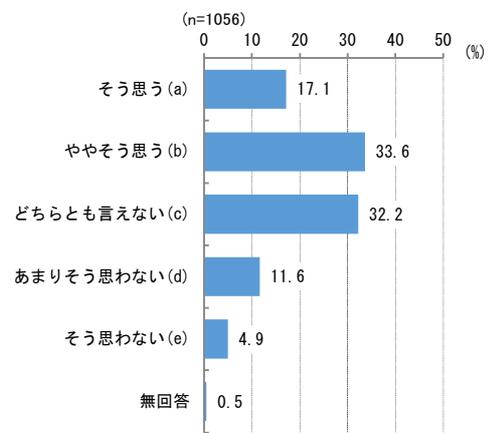
くらしの水

Q57. 上下水道は安全で安心していつでも利用できる



くらしの水

Q58. 大雨が降っても、身近な地域で浸水の被害は起こっていない



くらしの水

Q59. 上下水道は、経営が安定しており、将来も安心して使い続けることができる

